

## 2026年度 履修証明プログラム 募集要項 農業と農学の最前線 一次世代農業マイスター育成プログラムー

本履修プログラムは学校教育法第105条に基づくプログラムで、農業と農学（主として生産農学）に関する基礎的知識と最新情報を学ぶとともに、農作物の生産に関わる基礎的な技術取得を目的としています。本プログラムは、講義と実習から構成され、京都大学農学研究科教員が分担して担当します（別紙シラバス）。講義と実習は、その内容により、京都大学農学研究科附属農場（木津川市城山台）、京都大学吉田キャンパス北部構内（京都市左京区）で行います。

履修期間は、2026年4月25日から12月12日までの原則隔週土曜日（8月～9月を除く）、13回各8時間半～9時間半で、総時間数は112時間です。

修了要件は、本プログラムを100時間以上受講し、成果報告などで所定の評価を得ることで、修了者に農学研究科長名の履修証明書を交付します。

履修内容は、別紙のとおりですが、天候、作物の生育状況により変更する場合があります。

1. 履修資格：大卒程度の基礎知識を有すること。電子メールでの連絡に支障がなく、インターネットに容易にアクセスできること。

2. 募集人員：40名

3. 受講料：150,000 円（受講手続後は、受講料の払い戻しはできません。）

4. 出願書類

受講願書：所定の用紙に必要事項を記入したもの。

5. 出願手続き

受講希望者は、2026年2月26日までに、「履修プログラム受講願書」と朱書きし、下記あてに簡易書留で郵送ください。

〒619-0218 京都府木津川市城山台4丁目2-1 京都大学農学研究科附属農場 農場事務掛 宛

受講希望者多数の場合は、抽選で受講者を決定します。2026年3月中旬ごろまでに受講の諾否を電子メールで通知します。

出願書類などに記載されている個人情報は、本プログラムの受け入れ準備、実施などの目的以外に使用しません。

お問い合わせは、農場事務掛（kyodaifarm-program@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）まで。

## 2026年度京都大学大学院農学研究科

## 社会人履修プログラム受講願書

		整理番号	
ふりがな			
氏名	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
生年月日	年 月 日生(満 歳)		
最終学歴等	立 大学 学部 学科 年 月 日 <input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込		
出願者	現住所 : (〒 一 ) (携帯 一 ) (電話 一 ) メールアドレス :		
緊急連絡先	住所 : (〒 一 ) 氏名 : 続柄 : (携帯 一 ) (電話 一 ) メールアドレス :		
学歴	年 月 日 立 高等学校卒業		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
職歴	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		
	年 月 日		

## 2026年度開講農業と農学の最前線一次世代農業マイスター育成プログラム—シラバス

### 1 【木津農場】開講式、ガイダンスと農場紹介・施設見学（研究科長、農場長、中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香、牧隆宏、奥田渚、村田和樹、岩橋優）

京都大学農学研究科附属農場は、次世代型農業技術の開発と実証拠点として、新たな作物および作物生産技術の開発とともに、自然エネルギー利用型農業モデルの構築を目指して教育・研究に取り組んでいます。1回目は、開講式、ガイダンスを行うとともに、農場の紹介と施設の見学を行います。また、「生産農学の課題」について概観します。

### 2 【吉田キャンパス北部構内】農業を取り巻く諸課題

- 1) 地域経済と農業（松下秀介）：農業が他産業と大きく相違する特質を持っていることを理解した上で、農業の現場に視座を置きつつ、多様な農業経営体の存在と戦略を考えることで、日本の農業の進路について多面的な角度から概説します。
- 2) 農業機械開発の最前線（野口良造）：農業生産コストの低減と農作業の効率化を目的として、ICT技術と自動化技術を応用した農業機械の研究開発の動向を紹介します。
- 3) 農業と農薬（田中千尋）：作物生産における農薬の役割と登録の仕組み、おもな農薬の作用メカニズムや安全性について解説します。
- 4) 土壤と環境（真常仁志）：農耕地土壤の基礎原理および土壤からみた農業と環境の諸課題を解説します。
- 5) 農業と食の問題（丸山伸之）：農業に関わる食の諸問題について概説します。

### 3 【木津農場】果実の摘果と水稻の移植に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香、村田和樹、岩橋優）

果実の摘果では、果実の栽培歴や果実生産の側面からみた摘果の意義や摘果技術について講義するとともに、ナシなどの摘果の実習を行います。水稻移植実習では、イネの育苗から収穫に至る一連の栽培方法についての講義を行うとともに、手植えや機械による田植えの実習を行います。

### 4 【木津農場】タマネギの収穫と果実の袋掛けに関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香、牧隆宏）

タマネギの収穫実習では、タマネギ栽培の概要と収穫・調製・貯蔵などに関する講義を行うとともに、タマネギの収穫と調製の実習を行います。果実の袋掛けでは、果実の栽培歴や果実生産、特に病害虫防除の側面からみた袋掛けの意義について講義するとともに、ナシやモモなどの袋掛けの実習を行います。

### 5 【木津農場】農業生産と雑草（黒川俊二、下野嘉子、泉真隆）

作物の生産現場において、いかに雑草を防除するかは大きな課題です。本講では、雑草防除の基本となる雑草の生物学的特性を農作業への雑草の適応の観点から解説するとともに、世界的に問題となっている除草剤抵抗性雑草の出現メカニズム、被害が拡大している外来雑草の侵入と定着のメカニズムについても講義します。

## 6 【吉田キャンパス北構内】

- 1) 作物の品種改良の原理（那須田周平、寺石政義）：生物には外からの働きかけに応えて様々に変化していく性質、すなわち進化する能力が備わっています。この能力を利用して人類は植物に望ましい性質を賦与してきました。本講義では稻・麦・大豆という日本の主要穀類の育種について理解を深めます。
- 2) 果樹のライフサイクル研究の最前線（田尾龍太郎、山根久代、西山総一郎）：果実生産に直接関わる最新の研究、特に果樹の花成や雌雄性、受粉受精、および休眠などの研究について解説します。また京都大学附属京都農場に設置されている果樹園とカキの品種保存園での実習も予定しています。

## 7 【木津農場】果実の収穫・選果とシクラメンの栽培管理に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香、奥田渚）

果実の収穫と選果では、収穫適期や収穫選果技術に加えて、非破壊測定の原理と選果ラインに関する講義を行い、モモなどの収穫や手選果、光センサーが設置された選果ラインを利用した選果を実習します。シクラメンの栽培管理では、シクラメンの栽培暦と品種などについて講義を行うとともに、草姿を整え、最終的な品質に大きく関わる「葉組み」作業の実習を行います。

## 8 【木津農場】水稻の収穫・調製と花卉育苗に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、奥田渚、村田和樹、岩橋優）

水稻収穫・調製実習では、イネの収穫方法や出荷に至る調製方法などについて講義を行うとともに、手刈りによるイネの収穫実習や、農場で収穫調製を行っているライスセンターシステムの解説と見学を行います。花卉育苗では、花卉類の繁殖・育苗技術や培養土などについて講義を行うとともに、秋播き花壇苗の定植や挿し木などの実習を行います。

## 9 【木津農場】

- 1) 食用作物生産の原理および土壤・環境（桂圭佑、田中朋之、谷吉和貴）：食用作物の品質生理、光合成、多収性、多収栽培、特にイネ、ダイズ、ソバの品質・生産性向上のための作物生理学・生態学的および栽培学的諸原理を説明します。
- 2) カキ脱渋に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香）：カキの栽培方法や甘柿・渋柿の品種および果実の渋味が抜ける機構についての講義を行うとともに、

柿の収穫と渋柿の渋抜きの実習を行います。

### 1 0 【木津農場】

- 1) 热帯作物の環境ストレスの諸問題と日本における栽培技術（樋口浩和、近藤友大）：高温や乾燥といった熱帯的環境ストレスに対する農作物の応答と生理メカニズムを解説し、環境ストレスに対する農業の適応策を論じます。さらに、マンゴーやライチなどの熱帯果樹をはじめとした熱帯作物の日本における栽培上の諸問題にも視点を移し、環境ストレス応答の発生メカニズムの理解に基づいた障害回避技術を解説します。
- 2) サトイモの収穫・調整に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、牧隆宏）：サトイモの収穫・調製では、サトイモの生理・形態および収穫期や利用部位における品種特性について講義を行うとともに、圃場で栽培されているサトイモを収穫し、利用部位を判別して出荷のための調整を行う実習をします。

### 1 1 【吉田キャンパス北構内】

- 1) 蔬菜・花卉園芸の最前線（田中義行、大野翔、木下有羽）  
多様な野菜や花の供給は人々の健康で豊かな生活を支えています。本講では、野菜や花のもつユニークな性質に着目し、その特性が発現するメカニズムと生産・利用技術にどのように応用されているかを講義します。
- 2) 土壌特性の理解に基づいた肥培管理（渡邊哲弘、柴田誠）  
日本の農耕地土壌は多様であり、土壌の特徴に応じた肥培管理を行うことが大切です。本講義ではどのように土壌肥沃度を捉えるか、またそれぞれの土壌の特性に基づき長所・短所を理解した上で、いかに持続的に土壌資源を利用していくか解説します。また環境低負荷型農業の可能性と課題について概説します。

### 1 2 【木津農場】お米の食味試験とタマネギの定植に関する講義と実習（中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、牧隆宏、村田和樹、岩橋優）

お米の食味試験では、お米の美味しさに関わる成分や品種特性などについて講義するとともに、数品種のお米を炊飯して食味試験を行い、お米の美味しさに関する実習を行います。タマネギ定植実習では、生産を左右する苗の低温感受性や抽苔性などのタマネギの特性を解説し、育苗方法や定植の時期、品種特性などについて講義を行うとともに、育苗床で生育している苗を選び、畑に定植する実習を行います。

### 1 3 【木津農場】

- 1) 農産物の加工性と風味（及川彰、林由佳子、石橋美咲）：農産物の品質を評価する際の基準として、その加工性と風味は重要な意味をもっています。本講義では、大豆、野菜、果実などを対象として、風味に関わる成分の調理中の変化のメタボロミクス、味覚の生理学な

どについて講義と実習を行う予定です。

2) 総括と試験、閉講式（研究科長、農場長、中野龍平、井上博茂、吉川貴徳、長坂京香、牧隆宏、奥田渚、村田和樹、岩橋優）

農場実習の総括と農場実習で行った内容について試験をします。最後に、履修証授与式を含め閉講式を行います。

## 2026年度 社会人履修証明プログラム「農業と農学の最前線」講義・実習日程

(履修内容と担当者は、状況により変更する場合があります)

実施予定日	内 容	担 当 者	実施場所
1 4月25日	開講式 ガイダンスと農場紹介・施設見学	農学研究科研究科長、附属農場長、附属農場教員 附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・長坂京香・牧隆宏・奥田渚・村田和樹・岩橋優	木津農場
2 5月9日	講義「農業を取り巻く諸課題」 1) 地域経済と農業 2) 農業機械開発の最前線 3) 農業と農薬 4) 土壌と環境 5) 農業と食の問題	経営情報会計学分野:松下秀介 農業システム工学分野:野口良造 微生物環境制御学分野:田中千尋 比較農業論講座:真常仁志 品質設計開発学分野:丸山伸之	北部キャンパス
3 5月23日	講義と農場実習「果実の摘果」「水稻の移植」	附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・長坂京香・村田和樹・岩橋優	木津農場
4 6月6日	講義と農場実習「果実の袋掛け」「タマネギの収穫」	附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・長坂京香・牧隆宏	木津農場
5 6月20日	講義と農場実習「農業生産と雑草」	雑草学分野:黒川俊二・下野嘉子・泉真隆	木津農場
6 7月4日	講義「作物の品種改良の原理」「果樹のライフサイクル研究の最前線」	育種学分野:那須田周平・寺石政義、果樹園芸学分野:田尾龍太郎・山根久代・西山総一郎	北部キャンパス
7 7月18日	講義と農場実習「果実の収穫・選果」「シクラメンの栽培管理」	附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・長坂京香・奥田渚	木津農場
8 10月3日	講義と農場実習「水稻の収穫・調製」「花卉育苗」	附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・奥田渚・村田和樹・岩橋優	木津農場
9 10月17日	講義と農場実習「食用作物生産の原理および土壌・環境」「カキ脱渋」	作物学分野:桂圭佑・田中朋之・谷吉和貴、附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・長坂京香	木津農場
10 10月31日	講義と農場実習「熱帯作物の環境ストレスの諸問題日本における栽培技術」「サトイモの収穫・調製」	熱帯農業生態学分野:樋口浩和・近藤友大、附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・牧隆宏	木津農場
11 11月14日	講義「蔬菜・花卉園芸の最前線」「土壌特性の理解に基づいた肥培管理」	蔬菜花卉園芸学分野:田中義行・大野翔・木下有羽、土壌学分野:渡邊哲弘・柴田誠	北部キャンパス
12 11月28日	講義と農場実習「タマネギの定植」「お米の食味試験」	附属農場:中野龍平・井上博茂・吉川貴徳・牧隆宏・村田和樹・岩橋優	木津農場
13 12月12日	講義と農場実習「農産物の加工性と風味」 閉講式(履修証明書授与式を含む)	品質評価学分野:及川彰・林由佳子・石橋美咲 農学研究科研究科長、附属農場長、附属農場教員	木津農場

北部キャンパス:京都市左京区北白川追分町 (農学部総合館W106)

木津農場:京都府木津川市城山台4-2-1

基本的に9時開始です。